

事業計画書

事業名	JA佐久浅間助け合いの会「ほほえみ広場」		
実施箇所	地域の公民館・公会場・JA遊休施設 等		
実施期間	事業開始予定年月日	平成30年	4月 1日
	事業終了予定年月日	平成31年	3月 31日
事業概要	<p><事業の目的及び達成目標> 一人暮らし世帯や高齢者世帯が増えています。高齢者が可能な限り住み慣れた生活の場で安心して自分らしい生活が続けられる地域づくりをめざしたいものです。 さて、現在、ご家族が遠方で、家族とのふれあいが少なく、また、ご近所とのふれあい・交流も少なくなっている現在、とじこもりがちの高齢者や中高年者が増えています。 地域での交流の場、ふれあいの場として、歩いて参加できる場所として定期的に開催し、地域みなさんとふれあい・交流をする機会をつくり、みんなで支えあう地域力をつくることを目的とした「ほほえみ広場」の活動会員を増やし、会場数を3か所、新規開設予定としたいと考え、支援金を申請しました。</p>		
	<p><事業の内容> ・参加者を増やし、地域みなさんの理解や関心を得るために、地域に向けた公開講座・講演会を開催します。（年6回の予定） 公開講座・講演会は次の内容で予定をしております。①ボランティアの気持ちを育て、最寄りの地域で地域力をつけるための話②専門家から、高齢者や認知症の理解をするうえの認知症専門研修③「生きる喜び」や「楽しみ」を見出す支援をするため、手先や頭を使う趣味創作技術を身につけ、集団の中での指導をする講義・実践④「生きる喜び」や「楽しみ」を見出す支援をするため、レクリエーションについて専門的な知識・ノウハウを学び、身につけ、転倒予防等の介護予防体操を、参加者へ指導を行うための講義・実践。等、活動会員が地域で、より実践できる内容にするために講師を選定し、公開講座・講演会を開催します。一般の参加者の参加も大切にします。また、各講座・講演会では、地域でのつながりの大切さをお話し、協力していただける活動会員等を増やし、「ほほえみ広場」の新規開催場所を増やしていきます。 ・JA広報紙・チラシを作成して、JAの組織はもとより、そのほかのみなさんへのPR活動を行います。広報誌・チラシの作成については、見やすく、参加したくなるようなチラシづくりに心がけるとともに、専門家によるチラシの作成を検討します。JAの組織としては、月に1回ある、職員による訪問活動日でチラシの配布、毎月のJAHOO（JA広報誌）、季節ごとに発信されるJA支所・店だよりへ掲載をします。メディアとしては、『信濃毎日新聞の東信版』や『週刊さくいだいら』、『佐久市民新聞・小諸新聞』、『ご近所かわら版』等を使わせていただきPR活動を行います。また、最寄りの「ほほえみ広場」の案内については、最寄り配布できるように、JA支所・店・集落の小さいエリア単位のJA窓口での案内やチラシ配布をします。また、行政区や民生児童委員等の関係のみなさんへのご案内をし、お誘いし、ご理解やご支援、ご協力をお願いします。</p>		

・「ほほえみ広場」の会場では、専門家より指導いただいた内容（公開講座・講演会）等で、活動会員が中心となり、レクリエーションや体操を行います。今回申請しました、需要品や備品購入予定のやわらかいボールを使用したり、機器で音楽を流し、マイクを使用し、参加者が楽しみながら、自然に運動ができる工夫をしながら行います。また、参加者によく伝わるようにしていきます。

・「ほほえみ広場」の新規開設会場目標・・・ 3会場
 今回、旧佐久市(三河田)・臼田(入沢)・望月(春日)の3エリアでの新規開設を予定。

<アピールポイント>

・「ほほえみ広場」は、高齢者のみにかかわらず、だれでも、遠慮なく、気兼ねなく、参加できます。お休みの子供たちの参加も、声をかけていきます。

- ・参加確認をしながら、声かけ運動による安否確認もできます。
- ・近くの保育園児との交流もあり、世代間交流も図っています。
- ・足をはこんでいただければ、みなさん元気になります。

年間計画

4月	年間の計画樹立 各地域での「ほほえみ広場」の実施 ↓
5月	新規開設・・・春日「ほほえみ広場」、会員募集のチラシの配布 ↓
6月	公開講座・講演会（認知症看護認定看護師 浅間南麓こもろ医療センター 高野文美恵先生）、お出かけほほえみ広場(臼田地) ↓
7月	全体研修会・講演会(音楽とともに楽しむ体操 音楽療法士 北畑道子先生)・お出かけほほえみ広場(望月・浅科地区) ↓
8月	公開講座・講演会(レクリエーション技術研修会(お手玉等)の予定) お出かけほほえみ広場(旧佐久市地区) ↓
9月	お出かけほほえみ広場(あさま地区) ↓
10月	公開講座・講演会 (趣味創作技術研修会(牛乳パック再利用)の予定) ↓
11月	↓
12月	公開講座・講演会(予定) ↓
1月	全体研修会・講演会(レクリエーション技術研修会の予定) ↓
2月	↓
3月	総会

<p>活動することで期待される地域や社会への具体的な効果・成果 (事業の対象者・参加予定人数も記載)</p>	<p><「公益性」の視点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・住み慣れた地域で可能な限り暮らせます。 ・引きこもりがなくなります。 ・要虚弱高齢者の早めの発見ができます。 ・地域でのふれあいサロン(お茶会)等開催されているが、対象者にとっては、何回あっても喜ばれます。他のふれあいサロン(お茶会)等と日程等が重ならないように工夫します。 ・公開講座・講演会を行い、活動を案内することにより、地域住民への周知できます。
<p>活動を継続するための取組や考え方 (資金面、人材等)</p>	<p><「自立性」の視点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者には、遠慮なく、気兼ねなく参加できるように工夫します。 ・活動会員の定例の会議・研修会を開催し、研鑽をはかります。また、活動会員もいきいきとできるように工夫します。 ・広報紙・チラシを作成し、PR活動を行い、会員拡大をはかります。 ・地域での活動は活動会員の企画を大切に、相談は、事務局の生活部企画指導課が引き受けます。
<p>翌年度以降の活動内容概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ほほえみ広場」と「子供食堂」とのコラボの検討をし、住みよい地域社会の輪を広げるとともに、世代を超えた交流・活動に取り組みます。 ・以降、毎年新規開設4か所を目標にしていきます。
<p>事業の最終目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ほほえみ広場」新規を含め、地域全体で開催会場数を増やしたい。 ・地域で活躍していただく、活動会員数を増やしたい。 ・「ほほえみ広場」等の地域で行っている「ふれあい・交流の場」のマップづくりをし、地域住民に配布し、大勢の皆さんへ周知したい。参加を促したい。 ・「ほほえみ広場」と「子供食堂」とのコラボをしていきたい。 ・長野県や各行政の関係者、地域住民に知っていただく機会になります。また、大勢の皆さんが参加いただけるきっかけになります。 ・各行政や長野県、関係各位からのご指導をお願いします。